

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岸野 啓一 会長 特任教授 流通科学大学 経済学部(交通行動分析、都市・交通計画、観光政策等)</li> <li>・山下 香 副会長 准教授 甲南女子大学 文学部(建築設計、都市計画、観光まちづくり等)</li> <li>・岡 絵理子 教授 関西大学 環境都市工学部(住環境、都市計画等)</li> <li>・尾崎 平 准教授 関西大学 環境都市工学部(土木工学、環境システム等)</li> <li>・倉本 宜史 准教授 京都産業大学 経済学部(財政学、公共経済学、地方財政論等)</li> <li>・松下 聡 准教授 武庫川女子大学 生活環境学部(建築計画学、建築設計等)</li> </ul>	評価委員会・現地説明会 令和3年3月25日(木)	市街地整備課	西宮市附属機関条例	西宮市公共事業評価委員会
その他の委員					

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書に示された指標に加え、事業の目的・目標を端的に評価できる指標が設定されていればなおよかった。
	成果の評価	・当初に設定された評価指標に基づけば、事業整備の効果がみられる。 ・各指標について、目標値の設定根拠を示すなど、第三者にとってもわかりやすいものとなっていればなおよかった。
	実施過程の評価	・特になし
	効果発現要因の整理	・シート内「総合所見」について、今後同様の事業を実施する際には、第三者にとってもわかりやすい表現となるよう工夫すること。
	事後評価原案の公表の妥当性	・特になし
	その他	・アンケート調査において、今後同様の事業を実施する際には、目標との関係や調査項目の設定、評価の仕方などについて、事業前後の比較が正確にできるよう設問を工夫すること。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きについて、妥当に進められたことを確認した。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・今後のまちづくりの取組みについては、新型コロナウイルス感染症の状況に十分留意しながら進めていくこと。
	フォローアップ	・特になし
	その他	・特になし
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策について、妥当であることを確認した。
その他	・特になし	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。